

令和2年度自己評価の結果を集計して検討したこと・これからの課題・方向性

令和3年3月2日・3日

<未満児グループ>

担当制を取り組んでみて

- ・食事、排泄など細かな様子がよくわかった。
- ・担当の保育者の後追いが激しくちょっと離れただけで大泣きする
他の保育者になかなか慣れない。離れるタイミングがむづかしい。
- ・遊びは全員で見るのだが食事に時間がかかりすぎてしまいうまく日課が流れていかない。
- ・1人に対して50分は長すぎる？（食事）
- ・泣くとすぐに抱っこしてしまうがどのようにすればよいのか。
- ・ずっと抱いたままだと遊べない子になってしまう。
- ・担当制を勉強したい。
- ・仕事を終えてから研修会に参加したがどのようにしていったらよいのか良くわからなくなった。
（これからしていきたいこと）
 - ・日課の勉強をしたい
 - ・クラスごとの話し合いをもっとしたい

<以上児グループ>

異年齢保育に取り組んでみて

- ・学年の押さえが弱かった
- ・グループ毎に個性というのか違いが出てきた。もっと意見交換や自分の思いを言えばよかった。
- ・週1回の学年の日だけではできることが少ない。
- ・音楽リズムや製作などは学年のほうが指導しやすい。
- ・食事時、子どもの様子がわからない、把握しづらい。
- ・コーナーの充実、環境作り等の見直しが出来なかった。
- ・発達障害の子の対応に追われた。
（これからしていきたいこと）
 - ・研修や勉強会に積極的に参加する
 - ・ケース会議を設ける